





審査結果報告書

平成 28 年 8 月 24 日

主 査 氏 名 小泉 和彦 

副 査 氏 名 村雲 芳樹 

副 査 氏 名 馬島 正隆 

副 査 氏 名 海野 信也 

1. 申請者氏名 : 信太 昭子
2. 論文テーマ : Frequent High Expression of Kita-Kyushu Lung Cancer Antigen-1 (KK-LC-1) in Gastric Cancer
(胃癌における Kita-Kyushu Lung Cancer Antigen-1 (KK-LC-1) の高頻度発現)

3. 論文審査結果 :

進行胃癌患者に対して新しい治療的アプローチが期待されている。癌免疫療法は癌治療の候補だが、現在のところ胃癌においては免疫療法として有効な標的はほとんどない。共同研究者の福山らは、新たな TAA, Kita-Kyushu lung cancer antigen-1 (KK-LC-1) の同定を報告した。KK-LC-1 は CTA に分類されうるが、異なる臓器の癌に発現するという CTA の必要条件を確認するために胃癌における KK-LC-1 の発現を評価した。:2011 年 6 月～2013 年 6 月の期間、北里大学メディカルセンター外科において胃癌に対する外科的切除を施行された 49 症例を検討した。本研究では、KK-LC-1, MAGE-A1, MAGE-A3 を用いた際に少なくとも一つ CTA が検出される割合は 95.6% と高率であった。KK-LC-1 は CTA であり、既知の CTA に加え、癌免疫療法の標的となる可能性があり。さらにはがん診断にも応用できる可能性があるとしている。本研究は学位論文として十分に値する内容であると評価した。